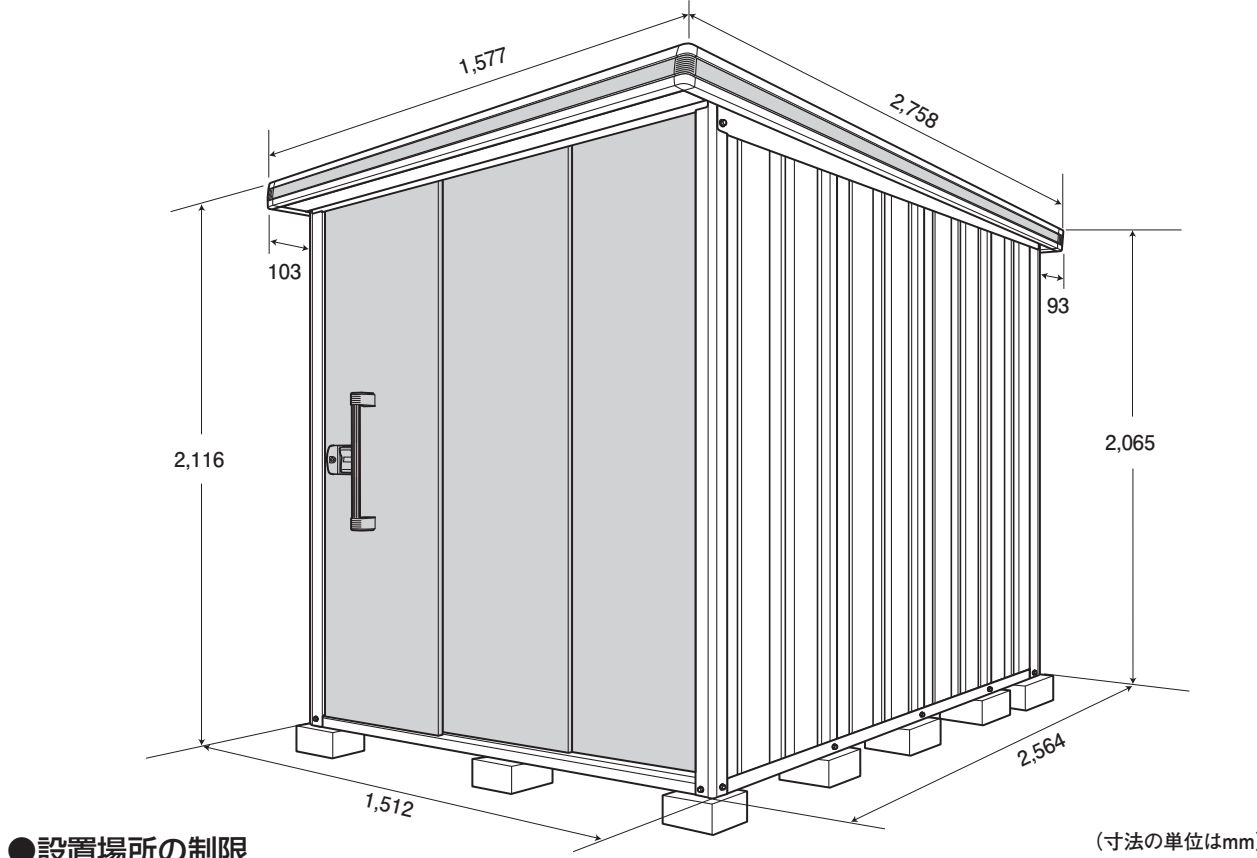


ヨド物置エルモ組立説明書LMD-1525型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



- ### ●設置場所の制限
- △注意
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。
- ### ●組立施工の際には
- △注意
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
 - 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
 - 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
 - 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆがみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表		
機 種	部 品	1525 型
枠	上枠前後	LM5-0124
	上枠左右	LM5-0203
	下枠前後	LM5-0253
	下枠左右	LM5-0306
柱	柱前AS-左	LM5-0356
	柱後	LM5-0415
補強（一般型・積雪型共通）	上枠前AS	LM5-1459
	上枠後	LM5-1103
床	床板	LM5-0515
	床板	LM5-0724
屋根	屋根材	LM5-0951
	屋根材	LM5-1004
壁	壁材	LM5-1004
	壁材	LM5-1022
袖壁	袖壁	LM5-1053
	壁	LM5-1703
棚板	棚板	LM5-1903
	合計	18

●梱包内容表		
●部品	LM5-0124	数量
ELD 屋根材	2	
前板 (2758mm×103mm) M6×15	5 (1)	
ELD 柱補強金具 (AS)	1	
ELD 下レールキャップ	1	
T 型レール	1	
ELD アンカープレート (L)	4	
ELD 屋根材取付金具 A	3	
ELD 屋根材取付金具 B	1	
EL 鍵孔フタ	1	
ボルト M6×15 (白)	186 (5)	
組立説明書	1	
取扱説明書	1	
保証書 5 年	1	
※ () 内は予備		
●柱		
LM5-0415	部材名	数量
柱	ELD 柱前 AS-右 L	1
	ELD 柱前 AS-左 L	2
	ELD 柱後 L	1
	ELD 戸当り (M) L	1
柱	ELD 柱前 L	1
	ELD 柱後 L	1
●補強		
LM5-0515	部材名	数量
床	ELD もや A-A2.0 DLK	1
	ELD もや A-A2.0	2
	ELD 床補強 A2.0	3
●床		
LM5-0724	部材名	数量
床	ELD 床板 A3.5	2
	ELD 床板 (35) A3.5	4
●屋根		
LM5-0951	部材名	数量
屋根	ELD 屋根 (35) A3.5	4
	ELD 屋根 (35) A3.5	4
●上枠前後		
LM5-0203	部材名	数量
上枠	ELD 上枠前 AS-A2.0	1
	ELD 上枠後 A2.0	1
	ELD 上枠前 AS-A2.0	1
●上枠左右		
LM5-0306	部材名	数量
上枠	ELD 上枠前 A 3.5	1
	ELD 上枠後 A 3.5	1
	ELD 上枠前 A 3.5	1
●下枠前後		
LM5-0253	部材名	数量
下枠	ELD 下枠前 AS-A2.0	1
	ELD 下枠後 A2.0	1
	ELD 床押え A2.0	2
●下枠左右		
LM5-0356	部材名	数量
下枠	ELD 下枠前 AS-A2.0	1
	ELD 下枠後 A2.0	1
	ELD 床押え A2.0	2
●下枠左右		
LM5-0356	部材名	数量
下枠	ELD 下枠前 AS-A2.0	1
	ELD 下枠後 A2.0	1
	ELD 床押え A2.0	2

○部材名称にはA2.0、A3.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

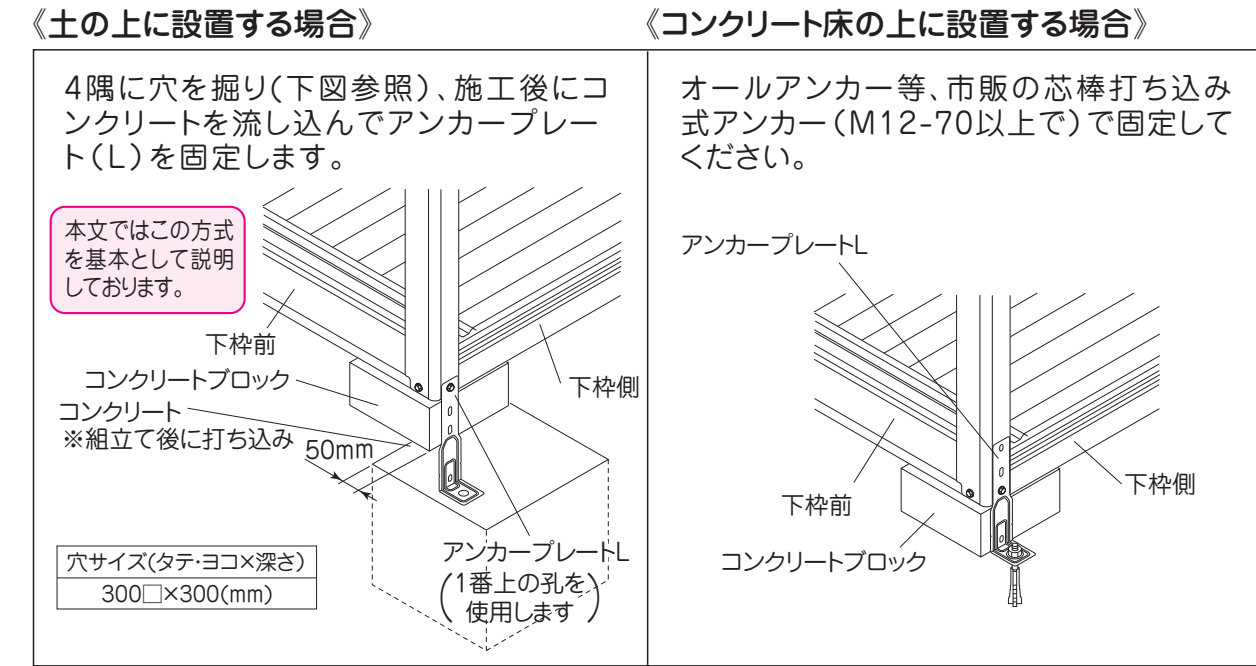
- ### ●施工にあたって
- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
 - 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
 - 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
 - 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- ### ●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)
- ・コンクリートブロック 15ヶ (幅19 cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
 - ・コンクリート (サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
 - ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

- ### ●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー (右側開口にする場合のみ必要)



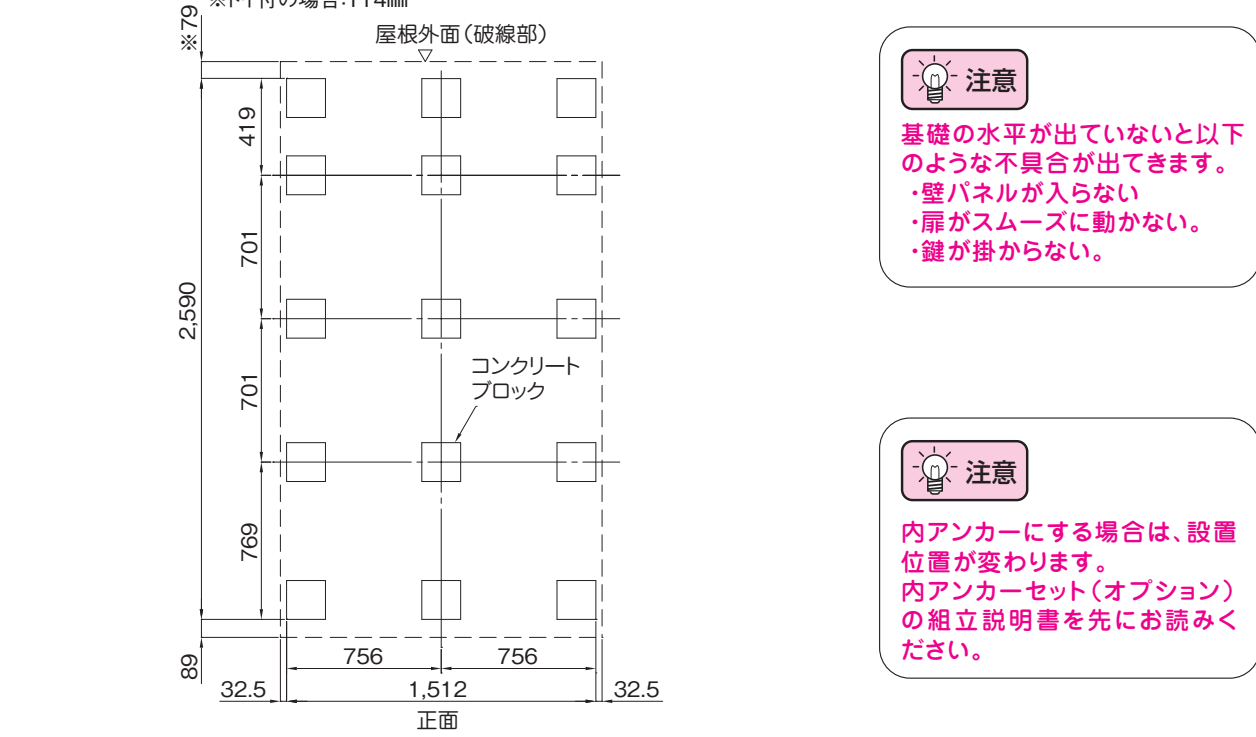
- ### ●アンカー工事について
- アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。
- △注意 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。



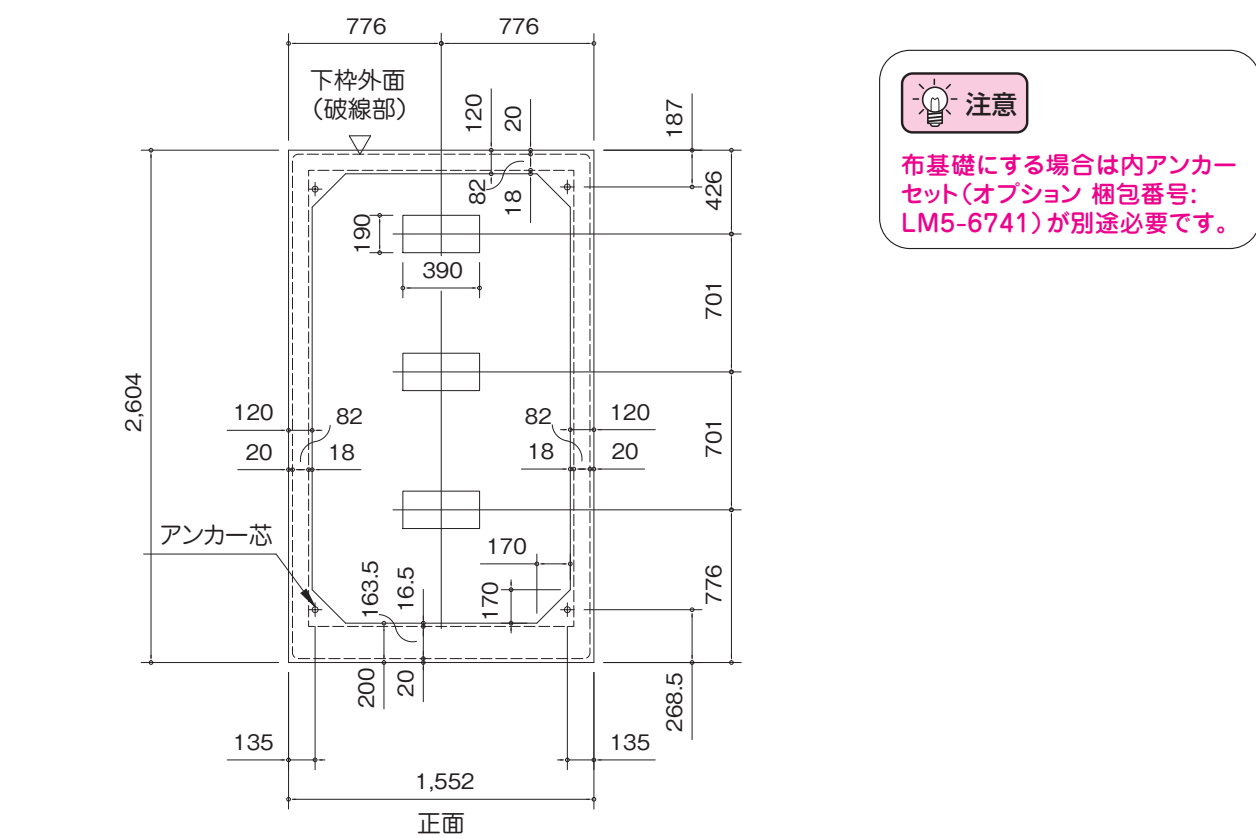
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)

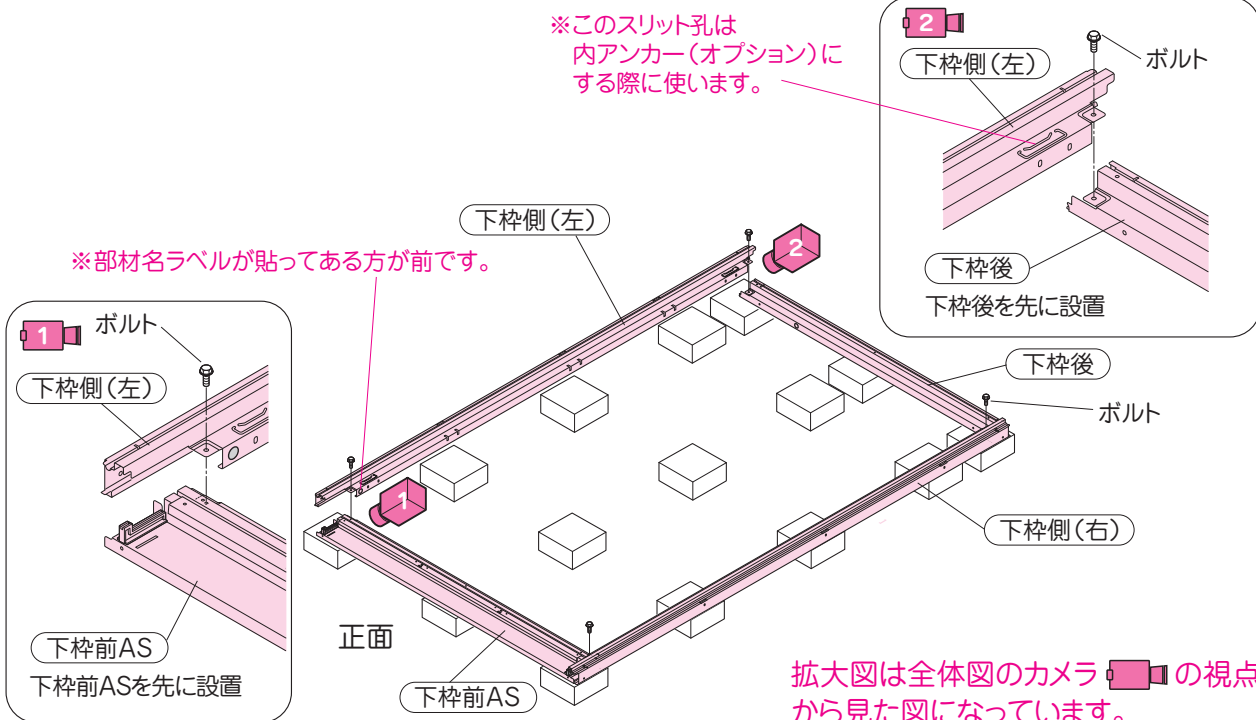


《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



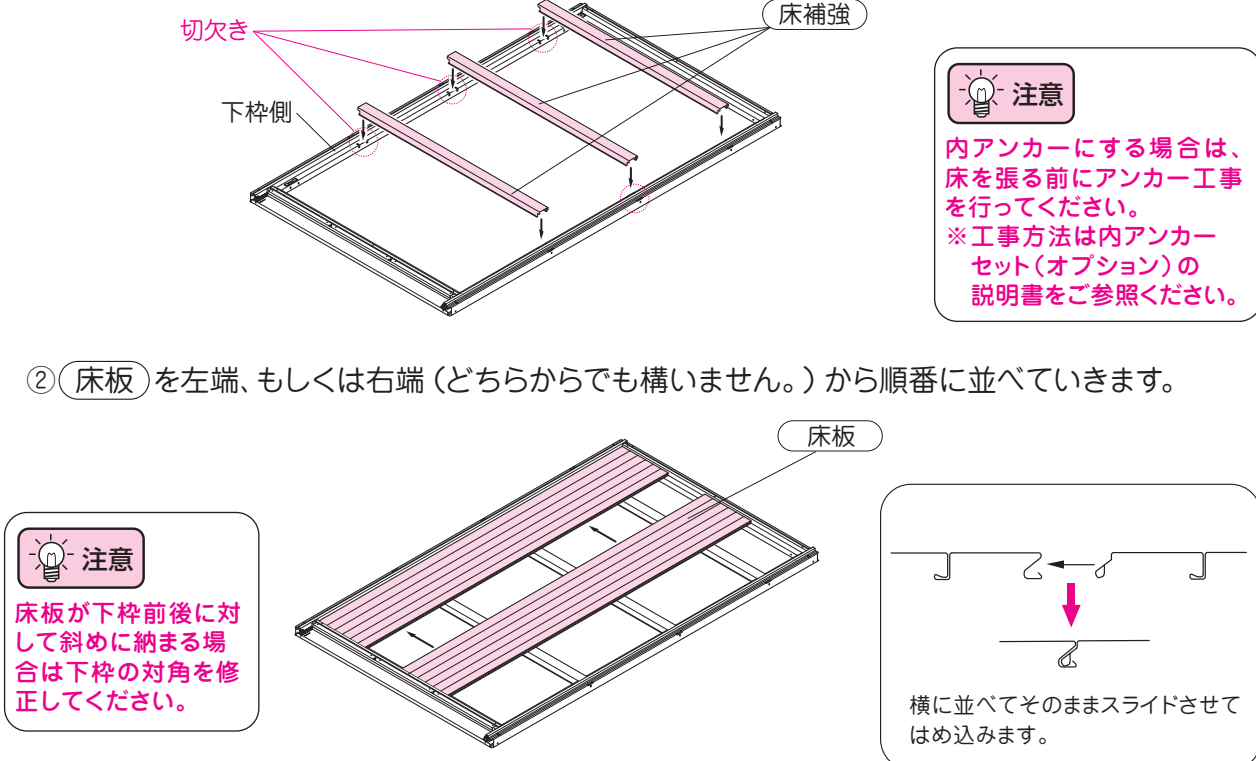
2 下枠の組立

- ①(下枠前AS)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前AS)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。



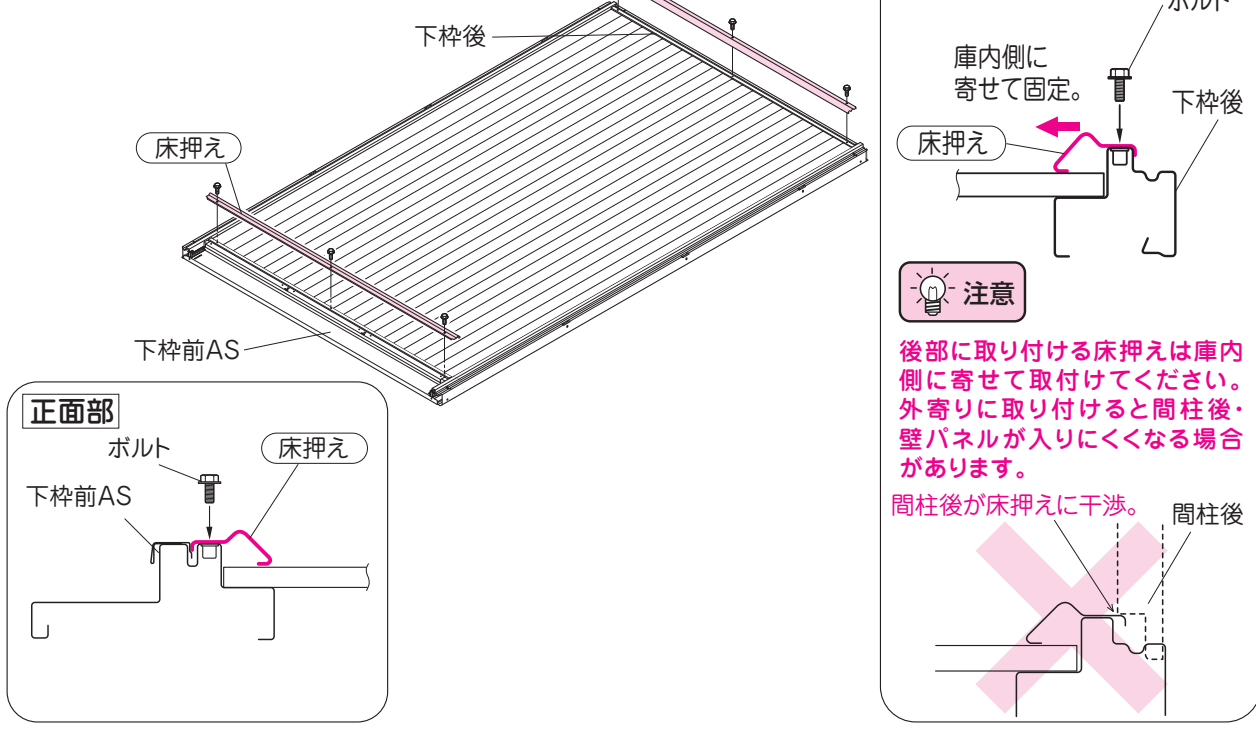
3 床の設置

- ①(床補強)を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。



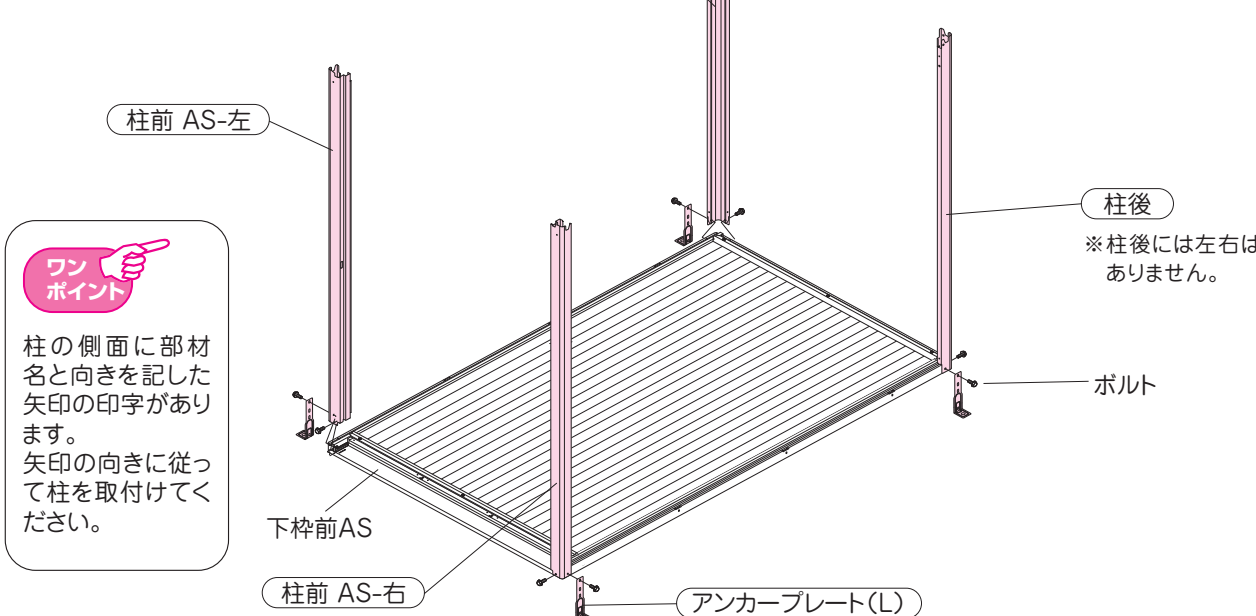
4 床押えの取付け

- ①(床押え)を下枠前AS・下枠後に取付けます。



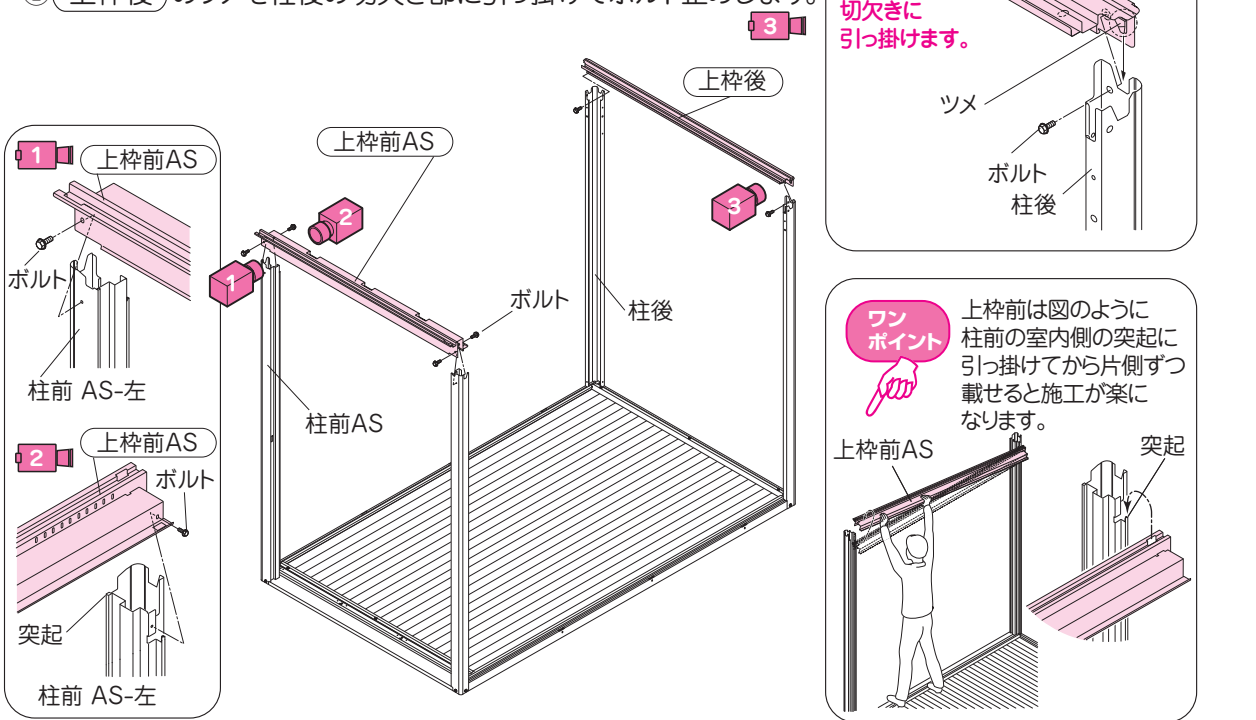
5 柱の取付け

- ①(柱前AS)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を側面にボルト止めします。



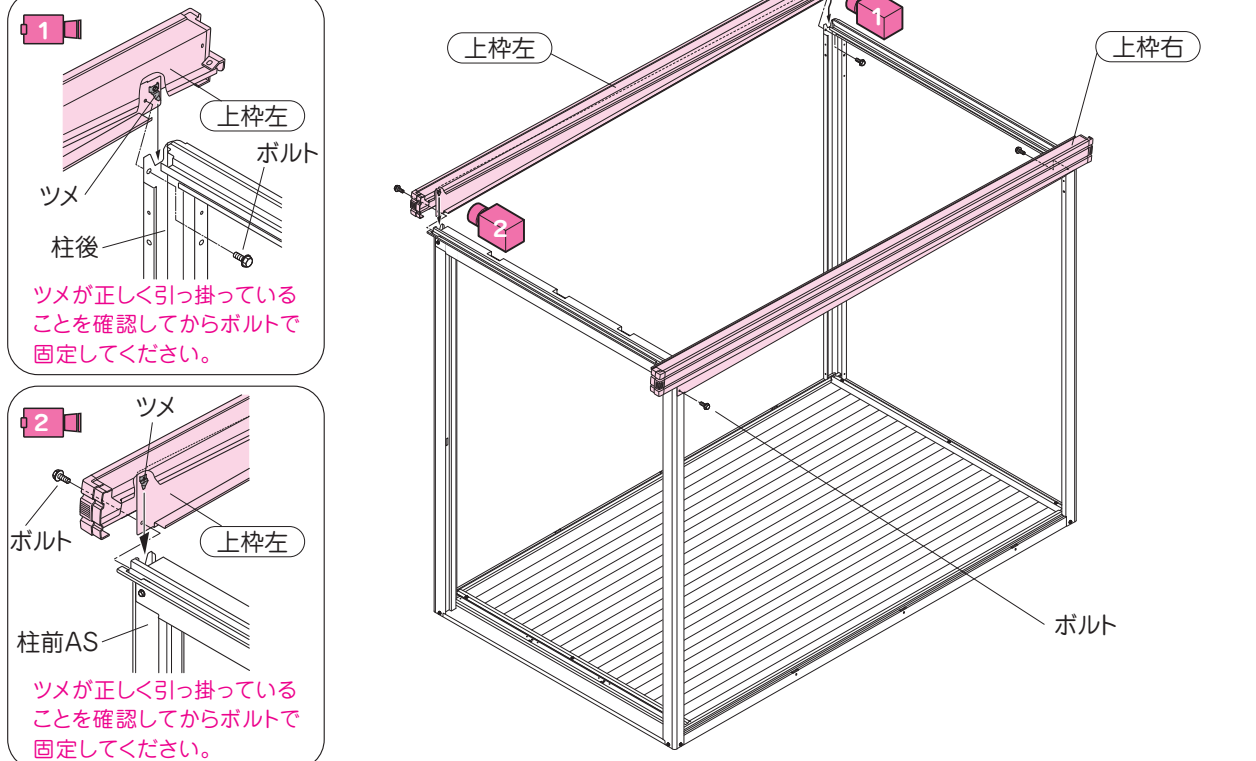
6 上枠前後の取付け

- ①(上枠前AS)を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



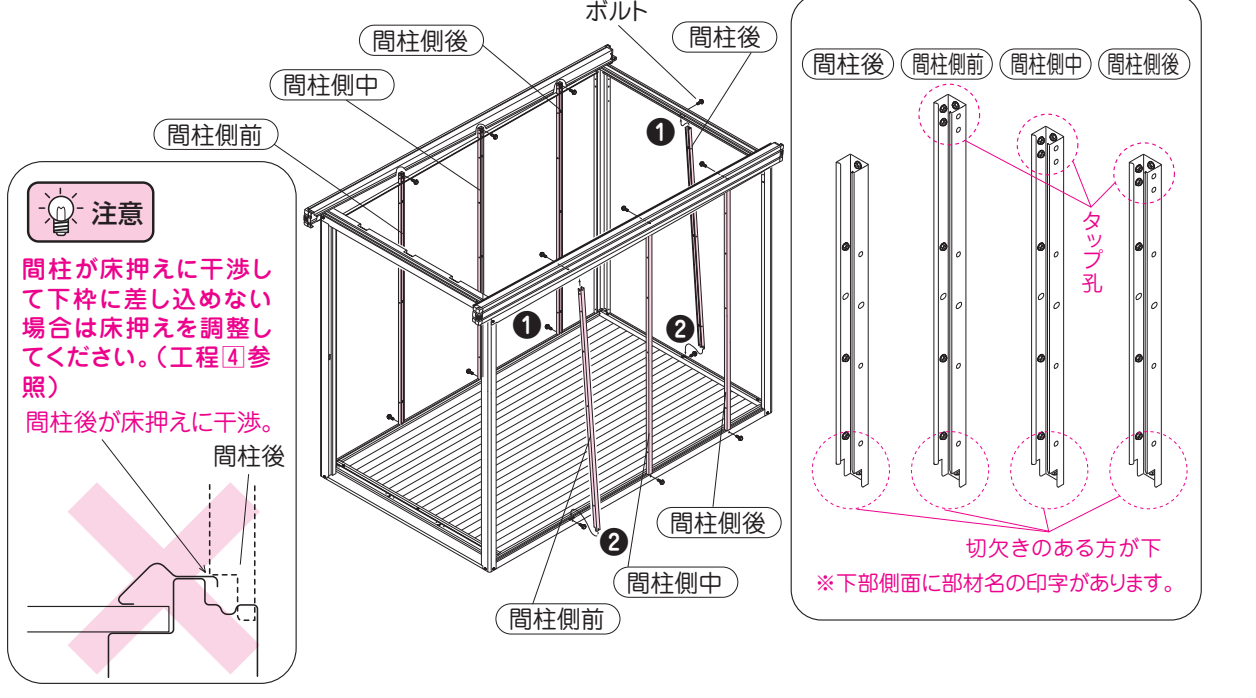
7 上枠左右の取付け

- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。



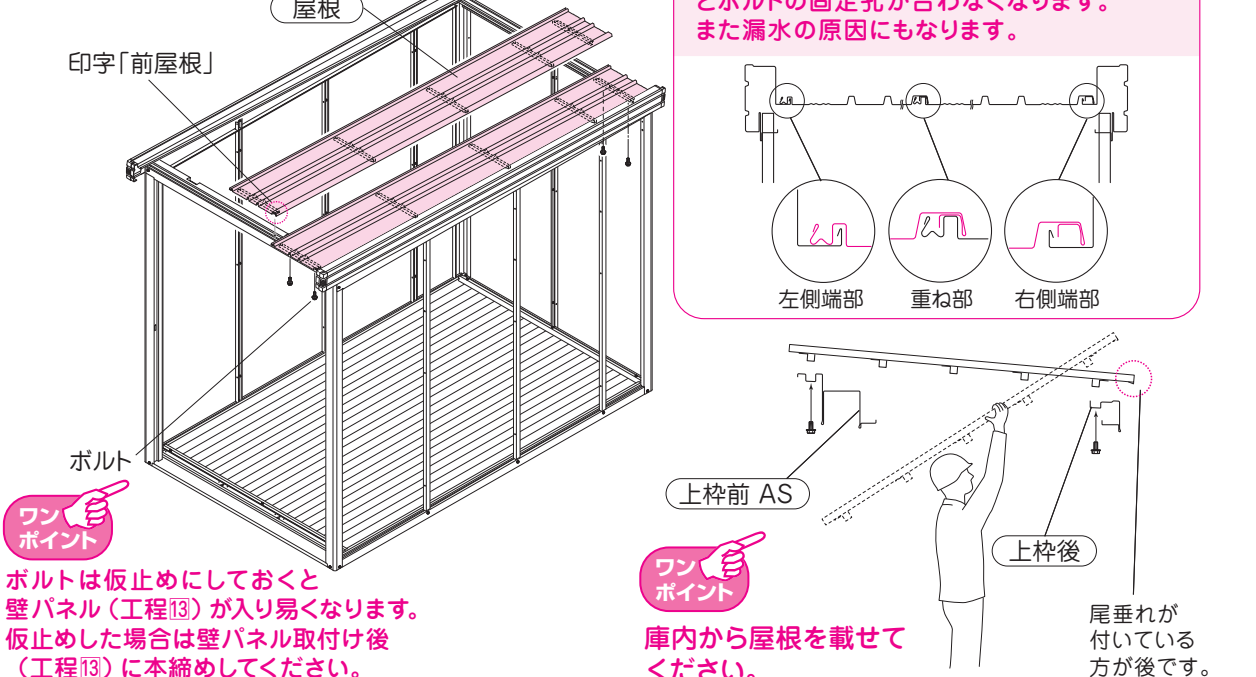
8 間柱側・後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- ②(間柱側)も同様にして取付けます。



9 屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後にボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



10 もやの取付け

① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**

② もや と屋根をボルト止めします。

ワンポイント 屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

注意 もやは3本同じ形状です。一番前には「一般・積雪共用型」のラベルが貼りついている**もや**を取り付けてください。

使用梱包	LM5-0515
使用ボルト数	36 本

11 間柱前の取付け

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書11/12/14/16/17/19を読んでください。

① 間柱固定金具 を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**

② 間柱前 の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。

右開口の場合 ボルト(スプリングワッシャー付) ※4本共ボルト(スプリングワッシャー付)で固定してください。

注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプションセット」の組立説明書を先にお読みください。

使用梱包	LM5-0415
使用ボルト数	LM5-0124
使用ボルト数	ボルト (スプリングワッシャー付) 4本

12 戸当たりの取付け

① 戸当たり (M) を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。- 工程17参照

右開口の場合 間柱前 戸当たり(M)

使用梱包	LM5-0415
使用ボルト数	3 本

13 壁パネル・袖壁の取付け

① 室内から(壁パネル・袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)

② 柱・間柱にボルト止めします。**1** **2** (開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。- 工程14参照)

注意 ボルト固定しないて倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

ワンポイント ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。※緩めた場合は壁パネル取付け後に締め直してください。

注意 壁パネルと下枠に三角形のすきまが発生したり隣同士の横受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

使用梱包	LM5-1004
	LM5-1022
	LM5-1053
使用ボルト数	65 本

14 柱補強金具の取付け

① 柱補強金具AS を柱前AS-左 (右側開口の場合は柱前AS-右) にボルト止めします。**1**

② 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。

右開口の場合 ※柱前AS-右に取り付けます。

使用梱包	LM5-0124
使用ボルト数	5 本

15 鼻隠しの取付け

① 鼻隠し前・鼻隠し後 を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。

② 鼻隠し後 と屋根をボルト止めします。**1**

鼻隠し後と屋根の固定 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプションセット」の組立説明書を先にお読みください。

使用梱包	LM5-1103
使用ボルト数	10 本

16 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

注意 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

① 扉後から 戸車プレート(右) を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。

② 扉後の 扉後隙間隔し 扉支持金具 を取り外して扉後の反対側に取付けます。

③ 扉前の最初に付いていた 戸車プレート(左) を取り外して扉後に取付けます。

右開口の場合 戸車プレート(右) 戸車プレート(左)

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト数	0 本

17 扉の吊り込み(1)

① 扉支持材AS を 扉前 に取付けます。

右開口の場合 扉前

② 扉後・扉前 の順番で吊り込みます。

右開口の場合 扉後 扉前

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト数	3 本

17 扉の吊り込み(2)

扉の吊り込み手順

① 扉後の戸車プレート を角孔に差し込む。 ② アルミレールに載せず下に落とす。 ③ 下部を奥に押し当てる。 ④ 扉後を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。 ⑤ 扉前も同様に吊り込む。

③ 戸当たり (M) と扉補強の隙間が4mm程度になる位置で 戸当たり (M) を固定してください。

扉後が吊り込みにくい場合は、一度戸車プレートを緩め、扉支持金具がついている側を上げ、反対側を下げてボルトを締め、吊り込んでください。

扉前が吊り込みにくい場合は、扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

ワンポイント 扉フランチと戸当たり(M) が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり(M)を少し屋外側にずらして固定してください。

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト数	0 本

18 戸車上昇防止プレートの取付け

① 戸車上昇防止プレートAS を上枠前ASに取付けます。(3か所) **1**

注意 戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを外してください。

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト数	0 本

19 取手の取付け

① 取手 を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。

② 扉裏の(取手取付け材)を回して取手を固定します。

注意 取手を取付ける向きに注意してください。※逆向きには取付かないようになっています。

2 取手の固定 取手取付け材(扉裏側) 矢印が図の位置に来るまで回転させてください。(時計まわりに約20°回転)

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト数	0 本

20 連動車の取付け

① 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)

② 連動車 のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。**1**

③ 連動車 をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)

④ 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。

ワンポイント ローラー部分を押し下げると取付けし易くなります。

注意 連動車には絶対に注油しないでください。運動しなくなります。

使用梱包	LM5-1703
使用ボルト数	4 本

21 扉の建付け調整

① 扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間がなくても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。

ワンポイント ボルトをゆるめて庫内から扉を開けて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

使用梱包	LM5-1903
使用ボルト数	0 本

22 棚板の取付け

① 棚受 を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。

② 棚板 を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)

注意 壁パネルには棚受は取付けできません。

使用梱包	LM5-1903
使用ボルト数	0 本

23 その他部品の取付け

① 扉裏面の注意・警告ラベルに`機種名、を記入します。

② 屋根隙間隔しA を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隔しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**

③ 下レールキャップ を下枠前に取付けます。**2**

④ 鍵孔フサギ を袖壁側の柱前に取付けます。**3**

錠操作法について 取扱説明書「錠操作法について」を必ずご参照ください。

組立てチェック 組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

① 扉の建て付け調整ができているかご確認ください。

② 鍵が正常に作動するかご確認ください。

③ 戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。

④ 棚板の配置確認をしてください。

⑤ 機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)

⑥ ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

こんな時は

・扉が外れてしまった。 戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程17/18/20)

・扉がスムーズに運動しない。 1. 本体の建ちを確認してください。 2. 連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3. 連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。

・取手が外れる。 取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程19)

・扉が最後まで閉まらない。 戸当たり (M) を調整してください。(工程17)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡ください。

(1525) **淀川製鋼** (2020年8制作)